

# Go-Ahead 1

<http://toyono-jinjikyo.com/>

## 平成 30 年度 (2018 年度) 10 年経験者研修 開講にあたって (中堅教諭等資質向上研修)

### ～ 振り返りシートより ～

今年度豊能地区では、小学校教諭 100 名、中学校教諭 34 名、養護教諭 4 名、合わせて 138 名の先生方が 10 年経験者研修を受講されます。

近年教員の年齢構成の不均衡、学校教育における諸課題等、学校を取り巻く環境の変化に対して、法定研修の在り方の見直しが求められています。そのような状況の中、豊能地区では、「子どもとともに学び続ける教職員」をめざす教職員像とし、法定研修を実施しています。

開講式では、兵庫教育大学大学院、浅野良一教授をお迎えし、「学校組織マネジメント」をテーマに、演習を交えてご講義いただきました。

教員 10 年目がどのような時期であるか、キャリアステージについてお話いただき、SWOT 分析では、自校を多面的に捉え直し、交流を通じてマイナス面も、見方をかえればプラス面になることに気づく等、学校組織を構築していく上で大切な要素について学びました。

組織を変革していく上で、力の入れどころはどこか、どのように意思統一すればよいか、現在学校内外で、さまざまな役割を担う先生方にとって、重要な観点を整理できたのではないのでしょうか。

日々、子どもたちのことが中心で、学校全体のことにについてはあまり考えることがなかったのですが、学校そのものについて考えることで、発見することがありました。今の自分に立場を考えれば、広く学校全体を見渡して考えながら仕事を進めていくべきところにいることを実感しました。

学校経営についての考え方、行動、行動へのプロセス等を理論的かつ明確にお話いただき、とても勉強になりました。自分が置かれている立場を改めて理解し、これからの学校のためになすべきことを意識する機会になりました。

10 年目の教員として、学校現場で何ができるか、悩み、不安を抱きながら 4 月を迎えました。今回の研修を受け、10 年目教員に求められていることを少しずつですが、理解できたように思います。浅野教授のお話から、自身の使命やこれからの教師としての生き方など、深く考えさせていただき、明日からの職務でも意識しながら取り組んでいきます。

最近、自分なりの強み、専門的なところを深めていきたいと考えていたところだったので、中期キャリアの説明に背中を押してもらった気分です。まだまだ未熟な面が多いですが、深めていけるところは、深めていこうと思います。学校の教育目標も学校に帰ってもう一度確認しようと思います。自分の学校だけでなく、他の学校の様子が知ることができ、興味深かったです。

最後に、浅野先生より「これまでの経験を“思い出”としてそのままにせず、それをこれからの経験につなげてください」という心温まるエールをいただきました。

この 10 年様々なことがあり、たくさんの先輩方、子どもたち、保護者の方に教わりました。それを思い出にせず、力にして、さらに今後は学校を支えていく立場になるんだと感じました。

振り返りには、「経験の浅い先生へ少しずつ助言をしていきたい。」と今後へ向けて、新たな気持ちを書かれている先生も多くいました。今年度において 10 年経験者の先生方が、初任者のメンターとなり相互に学び合う研修を予定しています。10 年経験者研修の全 5 回の共通研修は、豊能地区の教育を担う先生方への願いや期待を形にしたものです。必ずしも日々の実践に直結する内容ではないかもしれませんが、それぞれの研修が先生方のこれからのキャリアに役立つ研修であってほしいと願っています。

**Webアップ**  
していきます

相互交流研修を豊能地区教職員人事協議会のホームページに掲載しています。教職員研修のページをチェックしてください。

→ 申し込みは、各市町教育委員会(教育センター)へ